

OSS

草津駅周辺駐輪場3件に1609台の垂直2段ラックを納入
急浮上・跳ね上がり防止の安全装置が好評

滋賀県草津市では2～3月にかけて、JR草津駅前の駐輪場3件(草津駅西口第2自転車駐車場、草津駅西口第3自転車駐車場、草津駅東自転車駐車場)の改修工事を行った。

今回の改修工事のポイントはOSS社の垂直2段ラックを全面的に採用したことで、利用者の利便性を一気に向上させた。

草津市の人口は13万4000人強だが、年々増加の一途をたどっており、駅前駐輪場のニーズも極めて高いものがある。そういう状況下、草津市は駅前駐輪場の改善、改良化を検討してきたが、その結果として到達したのがOSS製垂直2段ラックの導入だった。



草津駅西口第2自転車駐車場に設置されたOSS製垂直2段ラック

草津市、アマノ、OSSの連係で駐輪場の改修作業を推進
利用者ニーズに応えるかたちで垂直2段ラックが導入される

滋賀県草津市は関西エリアの中で人気を高めており、人口も着実に増加している。

現在、草津市の人口は13万4000人強。京都まで電車で約20分という交通至便な環境を

持ち、しかも琵琶湖に面した美しい風景、穏やかな気候風土に恵まれていることが草津人気の要因だ。サイクリストの間では琵琶湖を自転車で1周するピワイチが盛んだが、その際にも草

津市の落ち着いた風景の中を走るのはピワイチチャレンジャーの楽しみのひとつだろう。

そんな自転車人気が高い土地柄であるから自転車通勤・自転車通学は盛んで、草津駅前に整備された駐輪場は常に満杯、キャンセル待ちの状況が続いている。



草津駅西口第2自転車駐車場の外観



▶草津市の駐輪場整備について語る杉田貢一参事

こうした状況の中、草津市が選択した駐輪場改修の対策はOSS社の垂直2段ラックの採用だった。限られた空間の中で機能的、効率的に自転車を保管するためには垂直2段ラックを採用するのが最善手との判断を下した草津市は、昨年秋口から採用すべき製品の選定作業に入った。

草津市都市計画部建築課の杉田貢一参事は、OSSの垂直2段式ラックを採用した経緯について次のように語る。

「利用者のニーズ、リクエストに応えるためには垂直2段式ラックを採用するべきだ」という結論に到達したのですが、どの製品が草津市の駐輪場に最適なのかわかりませんでした。そ

こでメーカー各社が出している垂直2段式ラックを予備知識、先入概念なしで操作性、機能性、コストなどを比較検討し、同製品導入施設へのヒヤリングを行った結果、OSS製の垂直2段式ラックを設計参考品として決定させていただきました」

杉田氏はOSS製の製品を選んだ理由として、次の諸項目を



草津駅西口第2自転車駐車場は垂直2段ラックを導入したことで自転車が整然と保管され、全体としてスッキリした印象だ



草津駅東自転車駐車場内部。OSSの垂直2段ラックがしっかりと設置されている

挙げた。

①上段のラックが急浮上、跳ね上がらないので安全性に優れている、②上段のラックには自転車重量で最大20kg強まで搭載可能、③上下段ラック等、主要部材がアルミ製で軽量、④下段ラックの保管自転車重量が最

大40kgまで可能で、電動アシスト自転車にも対応できる、⑤自動解除式フットブレーキ付きなので駐輪作業が便利、⑥下段ラックにトップガイド方式を採用しているので自転車の自立性が高い、といった点だ。

その他、細かな点でのリクエ

ストに対してレスポンスが早かったのもOSS製品に決定した理由である。

草津市が採用したOSS製の垂直2段式ラックは草津駅西口第2自転車駐車場が659台(上段264台、下段395台)、草津駅西口第3自転車駐車場が348台(上段132台、下段216台)、草津駅東自転車駐車場が602台(上段228台、下段374台)の合計1609台だ。

ラックの施工をアマノが担当して、草津市、アマノ、OSSが連携するかたちで今回の改修工事が推進された。

限定された空間において垂直2段式ラックの活用が有効なのは周知のとおりで、今回の草津市が選択した事例は駐輪場の整備を推進していく上で参考になると言えそうだ。



草津駅東自転車駐車場